

かたの



R5. 1. 16
形埜小学校
校長室だより

形埜小の今昔 150周年に関わるみんなの使命です
形埜の宝を守ること・伝えること



明治32年の集合写真



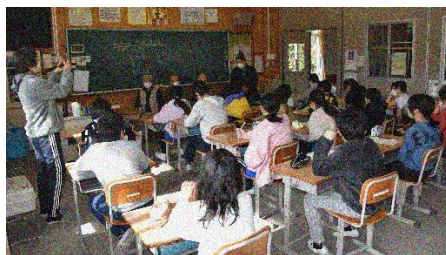
昭和40年の集合写真



令和4年4月の集合写真



地域の方が足を止める玄関の写真



今日は、形埜小学校の誕生について、お話します。形埜小学校は、明治6年9月に桜形村広祥院法堂を仮校舎として、**桜形学校**という名前で始まりました。150年前に、「学制」という制度が日本で始まりました。だから、今年を境に日本中で150周年記念の行事を行う小学校がいっぱいあります。

150年前とか明治9年といってもピンときませんよね。鬼滅の刃の炭次郎・ネズコのお話が100年前を想定されているものだそうです。着物でしたよね。

(中略)この資料(140周年記念誌)では、明治32年の写真からスタートしています。

少し、写真を見てみましょう。

(中略)

今のおしゃれな校舎は、平成元年に新築されました。校舎は33歳ということかな？**学校の名前もなんと、9個目**になります。

先週、56年生は、睡会の方から「戦争についての話」を聞きました。みんなのおいちゃんやおばあちゃんの中には、小学校に行くのにも、自分でくつ(ぞうり)を作った。道なき道が通学路、勉強どころじゃなかった。ご飯は、芋やら雑炊、味なんてなかった(今はメニューいろいろの給食・あったかい給食)。冬になれば、寒くても、暖房もないし、服だっていつも同じ服。そういう厳しい環境の中で、小学校に通っていた。(その頃は、こんな豊かな時代がくるとは予想だにできなかった)～お話を聞いて、いろいろ感じていろいろ考えたと思います。

それよりもっと昔に形埜小学校は誕生しているのですから、想像することすら難しいですよ。これからは、少しずつ「形埜の歴史」に触れていきたいと思います。みんなも、家族から「形埜小の思い出」を聞いてみてください。よかつたら、教えてくれると嬉しいです。

ところで、昨日夜8時 NHK 大河ドラマ「どうする家康？」を観た子はいますか？家康公は岡崎(岡崎城)で生まれました。昨日は、岡崎城や大樹寺がテレビで紹介されていました。実は、家康公に関わる形埜の歴史もあるんですよ。これについては、また次の機会に。

ミッションへの応募ありがとう！ろくらびちゃん・さぶろうも、さぞ喜んでいると思います。みんなの提案をしっかりと検討し、形にできるようにしていきますね。また、みんなの力を貸してください。

